

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童の自己肯定感を高めるため「わかった」「できた」と思える題材の設定ができた。
- ・基礎基本の定着を目指し、活動しながら学ぶ授業を行い、多様な表現方法を引き出すことができた。

(2) 課題

- ・多様な表現方法が生まれることでより明確な評価規準が必要であった。
- ・目標をよく吟味し、児童のどんな力を働かせ、何をどのぐらい伸ばすのか明確にする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して創造的につくったり表したりさせる。(体験的に学ばせる)	楽しく発想や構想をし、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げさせる。(思いをもたせる)	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わい、楽しい生活を創造しようとする態度を養わせる。(思いのままに楽しみながら取り組む)

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ創造的につくったり表したりさせる。(材料を自分の表したいことと重ね合わせる)	造形的なよさや面白さ表し方について考え、豊かに発想や構想し、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げさせる。(完成のイメージをもたせる)	進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わい楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養わせる。(見通しをもって取り組む)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、表し方を工夫して、創造的につくって表したりさせる。(材料と用具を自分で選ばせる)	造形的なよさや美しさ表し方などについて考え、創造的に発想や構想したり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりさせる。(多くのイメージをもたせる)	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを深く味わい楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養わせる。(見通しをもって計画的に取り組む)